



学 校 便 り 琢 磨

令和6年度 第4号 R6.5.8 三豊市立詫間小学校

運動会の期日変更に伴う年間行事予定について

昨日(5/7)のPTA本部役員会並びに合同委員会におきまして、運動会の期日は11月9日(土)の午前中に開催と決定いたしました。度重なる変更で、ご迷惑をおかけしました。また、運動会の期日変更に伴い、以下のとおり、2学期以降の行事予定に変更があります。念のため、7月～2月の主な行事予定について、変更のないものも含めお知らせいたします。

【7月】

7/6(土)県小学生陸上交流大会 7/17(水)期末懇談会 7/18(木)期末懇談会、給食終了
7/19(金)終業式、5年宿泊学習(1日目) 7/20(土)5年宿泊学習(2日目)

【8月】

8/10(土)たくま港まつり(1～3年参加) 8/23(金)PTA本部役員会 8/25(日)PTA奉仕作業

【9月】

9/2(月)始業式 9/6(金)PTA合同委員会 9/27(金)…授業参観、人権・同和教育講演会

【10月】

10/4(金)遠足 10/10(木)地区陸上記録会

【11月】

11/2(土)県陸上(6年) 11/3(日)県陸上(5年) 11/9(土)運動会(午前)

11/10(日)運動会予備日(午後) 11/11(月)振替休業日

11/17(日)第3回さぬきっ子陸上カーニバル 11/28(木)校内マラソン大会(予定)

【12月】

12/3(火)4年親子給食(予定) 12/4(水)4年親子給食(予定) 12/5(木)修学旅行(1日目)

12/6(金)修学旅行(2日目) 12/19(木)期末懇談会 12/20(金)期末懇談会 12/23(月)給食終了

12/24(火)終業式

【1月】

1/8(水)始業式 1/10(金)PTA本部役員会(予定) 1/17(金)PTA合同委員会(予定)

1/24(金)授業参観・学校保健委員会(PTA合同委員会時から変更) 1/31(金)入学説明会

【2月】

2/4(火)6年親子給食(予定) 2/5(水)6年親子給食(予定) 2/21(金)学習発表会

※ 3月につきましては、期日未定の行事が多いため決定次第お知らせいたします。

※ 太字は、今回、期日を変更した行事です。

4月の行事から

【花和紙体験(4年生)】

4月16日(火)。4年生は、フラワーパークで、「花和紙体験」を行いました。昨年の秋に自分たちが植えたマーガレットの花びらをはじめ、カラフルな花びらを使って、世界でたった一つの花和紙を作りました。



5月の行事から

【非行防止教室(6年生・4年生)】

5月2日(木)。6年生と4年生は、「非行防止教室」を行いました。6年生は、3クラス合同でランチルームにて、万引きやネットの安全な利用について考え、犯罪に巻き込まれないよう誓いをたてて宣言しました。



私の勤務した学校 その2の続き

(高松市立松島小学校 平成2年4月～平成6年3月)

松島小学校での1年目が4分の3くらい終わろうとした冬の日、私は自分の不注意で顔に大やけどを負うこととなります。当時は、学校に「焼却炉」(ゴミ焼き場)という物がありました。学校の運動場の片隅でゴミを燃やしていました。私は、「少しだから大丈夫」と油断し、油性ペンキの余った物を焼却炉の中に入れてしまったのです。そして、火を着けた瞬間、焼却炉から大きな炎が上がり、ちょうど、焼却炉の中をのぞき込んでいた私の顔に炎が直撃したのです。

「しまった！」と後悔しました。シンナーを含んだ塗料を焼却炉に入れて火を着けるなんて危険極まりない行為です。でも、その時の私は、「シンナーが混ざっているけどペンキだし、量も多くないので大丈夫だろう。」と思い込んでいたのです。炎が顔に直撃した瞬間、髪の毛が焼ける音がして、顔に痛みが走りました。痛みよりは「顔に火傷をしてしまった」という不安の方が大きかったです。すぐに近くの病院に行きましたが応急処置のみで、火傷の専門医に診てもらった方がいいだろうということで、同僚の教員に県庁の隣の日赤病院に連れて行ってもらいました。

専門医からどんな言葉が出るのかを不安いっぱい気持ちで聞いていました。「かなり焼けていますね。今後数日で、顔の半分くらいが真っ黒のかさぶたのようになります。驚かないようにね。そのかさぶたみたいになった肌は、やがてはがれます。はがれると、赤ちゃんのようなピンク色の肌になります。しかし、その肌も色素沈着といって、また、だんだん黒ずんでいきます。どこまで色素沈着が進むかは様子を見ないと分かりません。肌が生きていれば(力があれば)、その色はだんだん薄くなりますし、そうでなければ火傷した部分だけ色がずっと残る場合もあります。」といったことを先生は説明してくださいました。病院から帰り、私は一人暮らしをしていたアパートで、痛みと不安に震えながら眠れない長い夜を過ごしました。

そして、数日。先生のおっしゃったとおり、焼けた肌の部分は真っ黒になりました。その間は、学校を何日か休みました。顔中に包帯を巻いていましたので、買い物に行くと、みんなが私の顔を恐ろしい物を見ているかのように覗いている気がしましたし、みんなが私を避けて歩いているようにも思いました。その肌が、かさぶたのようにはがれ落ちると、先生のおっしゃったとおり、ピンクの肌が表れました。その時に、やっと私は平常心を取り戻しました。しかし、それもつかの間。そのピンクの肌は、日に日に黒くなりました。顔の半分くらいが黒ずんだ肌色になってしまいました。病院で経過を見ていただきましたが、今後、どうなるかは分からないとのことで、しばらくは、ファンデーションを塗って仕事をするのを勧められました。学校も休んでいるわけにもいきません。でも、学校で、担任している4年生の子どもたちがどんな反応をするのか、私はとても不安でした。(この顔を怖がらないかな?)最初は、少し驚いて私の顔を見ていた子どもたちも、1時間目が終わる頃には、「先生、お化粧したの初めて?」とか「髪の毛ちりちりやん。」なんて普通に話しかけてくれました。2日目からは、私の顔のことを言う子どもは一人もいませんでした。気にもしていない様子でした。私の心は、この子どもたちに本当に救われました。

色素沈着は、それでも繰り返されて、良くなったという感じはありませんでした。何とか白くならないかと、クリームを塗ってタオルで強く顔をこすったこともありました。その頃、先生は、「では特効薬を試してみましよう。」と新しい薬を出してくださいました。すると、その薬がみるみる効いて、だんだん火傷の痕が分からなくなってきたのです。冬が終わる頃には、じっと見れば、痕が分からなくなかないかなという程までに回復しました。その特効薬って何だと思いませんか?なんと「濃縮したビタミンCの顆粒」でした。ビタミンCが肌に良いのは知っていましたが、火傷の色素沈着を防ぐのにこんなに効くとは驚きでした。栄養素の偉大さを再認識したのでした。

そんなことがあった1年が過ぎ、次の年は5年生、そして6年生、そして、また6年生の担任をさせていただきました。松島小の2年目には、その学校で知り合った妻と結婚もしました。そして、あんなに学校文化の違いに戸惑った高松での仕事も、だんだんと周りから認められるようになり、仕事が楽しくなり、ここ(高松市)で一生を過ごす気持ちになっていたのです。ところが、次の年に、私は、再び三豊郡の小学校に戻る(転勤する)ことになったのです。